KAEN PARTNER — DETAILED GUIDELINES

協賛要項 補足資料　2027 FOUNDING PARTNER ／ 初年度10社限定

火焔パートナー詳細要項

長岡の技術を「火焔土器」に変える、最初の10社へ。

御社の技術を結集した火焔土器を製作していただき、製作の過程や技術を紹介する動画とともに**アリーナのど真ん中**に展示します。
一社の強みを見せるだけではありません。10基が並ぶことで、**長岡・中越のものづくりのサプライチェーン群を目に見える形にする**企画です。展示は当日で終わらず、**新潟県立歴史博物館の特別展（約1か月）**へ続きます。

¥200,000 税込
協賛金

10 社
初年度限定・先着

2027.02.07 SUN
アトHEN展示 → 歴博 特別展 約1か月

写真：第4回（2026）光のアート空間での展示。(有)ナガオカ表記がアクリルで制作した火焔土器。**2027は展示場所をアリーナ中央へ移します**

なぜ、製造業の技術を「火焔土器」で表現するのか　MEANING & PURPOSE

01 ORIGIN
5000年前、創造の原点はここにあった

1936年、長岡市の馬高遺跡で出土した縄文土器は、器としての用途を超えた装飾から「火焔土器」と名付けられました。信濃川流域の雪国で生まれたこの造形は、2016年に日本遺産「なんだ、コレは！」として認定された**日本文化の源流**です。

古代の創造力を、現代の製造力で受け継ぐ。

02 VISIBILITY
長岡の技術は強い。ただ、見えていない

長岡市の製造品出荷額は約7,228億円。その4割超を業務用機械・生産用機械が占める**「機械を作るための機械を作る街」**です。しかしBtoBの製品は消費者の目に触れません。課題は技術不足ではなく、**価値が見えていないこと**。火焔土器は、見えない技術を直感で伝える入口です。

加工精度も素材も、作品なら一目で伝わる。

03 CLUSTER
一社の技術から、地域の産業力へ。

長岡・中越には、設計から加工・組立・検査まで、工場設備をつくる工程を担う企業が50km圏に集積しています。**一社一社が持つ高度な技術を束ねて見せることで、長岡・中越が持つサプライチェーンの厚みを可視化する。**10社の火焔土器は、その最初の見本市です。

自社の強みを拡げ、群としての強さを魅せる。

新たな地域ブランドの創出へ　NEW REGIONAL BRAND

長岡市総合計画（令和8〜17年度）は製造品出荷額1兆円規模を掲げています

7,228億円 → 1兆円
長岡市の製造品出荷額（現状）と総合計画の目標規模。既存企業の付加価値向上と企業誘致で到達する

43%
出荷額に占める業務用機械・生産用機械の割合。マザーマシン・産業設備が長岡の核

90周年
2026年は火焔土器発見（1936年）から90年。再発信の節目

2027 3/19〜9/26
GREEN×EXPO 2027（横浜・国際園芸博覧会）に、ハイブ長岡の火焔土器オブジェの展示が決定。火焔土器が全国の話題になる年

見せる → つなぐ → 実らせる — 地域ブランドが育つ循環

認知 SHOW
火焔土器を入口に、**各社の技術を見える化**し、人とメディアを集める

接続 CONNECT
企業・技術・事例をWEBで市外・県外・海外へ発信し、**受注・採用・誘致**につなぐ

実装 REALIZE
地域クリエイターが技術の価値を映像・WEB・展示に**翻訳**し、成果に変える

アトHEN2027の火焔パートナー10社は、この循環の**「認知」の最初の一歩**です。来場者6,000人超と若年層、メディアの前で技術を作品として見せ、次の接続（発信・商談・採用）へつなぎます。

出典：長岡市の製造品出荷額と内訳は経済構造実態調査（2022年）、1兆円規模の目標は長岡市総合計画（令和8〜17年度）。GREEN×EXPO 2027（2027年3月19日〜9月26日・横浜）への火焔土器オブジェ（ハイブ長岡）の出展は決定済み。

FEE
¥200,000 税込
製作費・**動画制作費は別途御社負担**。展示台・照明・モニターはイベント側

SLOTS
10 社限定
先着順。定員に達し次第、締切

DEADLINE
11/30 申込／1/20 動画提出
チラシ掲載は11/30申込分まで。作品搬入は2/6(土)

BENEFITS
ロゴ大相当＋展示
会場ロゴ大・大ビジョンCM・ブース出店料免除・チケット20枚ほか（4ページ目）

アクリルの火焔土器から、長岡の技術の火焔土器へ FROM 2026 TO 2027

2026年2月8日・光のアート空間。協賛企業 (有)ナガオカ表記がアクリルで制作した火焔土器

2026 (有)ナガオカ表記が、アクリルで制作した

第4回の光のアート空間では、協賛企業の(有)ナガオカ表記が自社の加工技術でアクリル製の火焔土器を制作・展示しました。LEDウォールの光を透かす造形は来場者が最も写真を撮る場所になり、「企業の技術で火焔土器を作る」第1号として、2027年テーマ「火焔」の原型になりました。

2027 長岡の企業10社が、自社の技術で製作する

(有)ナガオカ表記が示した「自社の技術で火焔土器を作る」という試みを、今年は10社に広げます。金属・木・光・食・紙・デジタル。10社の技術で作られた10基が並ぶことで、長岡・中越のものづくりのサプライチェーン群が目に見える形になります。

2027.2〜 歴博の特別展へ。そして、火焔土器が全国の話題になる年へ

アトHEN終了後は新潟県立歴史博物館の特別展で約1か月展示。同じ年、横浜のGREEN×EXPO 2027ではハイブ長岡の火焔土器オブジェが展示され、火焔土器が全国の注目を集めます。

地域ブランド戦略：点から、面へ REGIONAL BRAND

長岡には世界に誇れる技術集積があります。一方で、燕三条の「金物」、東大阪の「町工場」のように**全国に伝わる“産業ブランド”としては、まだ大きな伸びしろがあります。**そこで「世界の工場をつくる街」の看板を長岡単独で掲げるのではなく、火焔土器文化を共有する**信濃川火焔街道（中越・燕三条〜新潟）を「創造産業圏」として面で発信**し、発見地・長岡がその旗を振ります。

十日町・津南
雪国と縄文の深さ。火焔型土器の国宝も

燕三条
金属加工・表面処理。プロダクトのブランド力

新潟市
港・都市機能。世界への出口

長岡
火焔土器の発見地。機械・設備の集積。流域の創造力を産業に変える中心

御社にとっての意味 FOR YOUR COMPANY

- **受注：**「技術」で見つけてもらえる。設備メーカーや発注者に「この地域に頼めば揃う」と伝わり、サプライチェーンの一員として指名される入口になります。
- **採用：**若者の目に、技術が「作品」として映る。来場者の65%は39歳以下。製作に関わった若手社員が動画に登場すれば、そのまま採用広報になります。
- **ブランド：**作品は展示物ではなく、御社のブランド資産。名前・素材・技術・作り手の物語を持たせ、写真・動画・記事として展示後も使い続けられます。
- **連携：**10社が同じ場に立つことで、企業間の横のつながりが生まれます。次の共同開発や受発注のきっかけを、実行委員会と地域のコーディネーターがつなぎます。

アトHENの先へ — 展開の構想 ROADMAP

※歴博特別展・GREEN×EXPOは決定済み。2027年春以降の発信・拡大は構想段階

2027.1 予定
大宮駅（埼玉）で盆栽×火焔土器コラボ展示
JR大宮駅構内で週末限定のポップアップ展示。テック火焔土器に盆栽を植え込み、アオーレ長岡本展示に先駆けて県外でお披露目（詳細調整中）

2027.2 確定
アトHEN2027で10基を展示
光のアート空間・来場者6,000人超・メディア取材・記録撮影

2027.2〜3 確定
県立歴史博物館で特別展（約1か月）
閉場後、10基をイベント側が運搬。火焔土器の発見地・関原の歴博で展示（日程調整中）

2027.3〜9 決定
GREEN×EXPO 2027 横浜に火焔土器
ハイブ長岡の火焔土器オブジェの展示が決定。火焔土器が全国で話題になる時期に、歴博の10基と合わせてメディアへ売り込む

2027〜 構想
地域の製造業を発信する媒体へ
10社の技術と作品・動画を、長岡のものづくりを紹介するWEB・メディアで市外・海外へ発信

継続 構想
次年度・広域へ拡大
参加社数の拡大、燕三条など信濃川流域への展開、テレビ・雑誌への企画持ち込み

10社中1社以上
展示をきっかけにした新規商談・受注の創出を、初年度の成果目標に置きます

採用への波及
参加各社の動画・作品を採用広報に転用し、若年層からの応募増につなげます

次年度への拡大
成功事例を共有し、2028年は参加社数の拡大と広域（燕三条等）への展開を目指します

火焔パートナーは、協賛であり、参画です。

2027 FOUNDING PARTNER ／ **初年度10社限定。**ロゴの掲出にとどまらず、御社の技術を「地域の産業ブランド」の一部として世に出す参画枠です。だからこそ製作は御社の手で、技術は御社の言葉で。その代わり、展示・演出・記録撮影・発信・次の接続は、実行委員会と地域のクリエイターが引き受けます。**長岡の技術を「火焔土器」に変える、最初の10社になってください。**

製作・動画・展示の要項

1. 作品（火焔土器）の製作要項 PRODUCTION

※仕様は目安です。規格外の企画はご相談ください

モチーフ	「火焔土器」をモチーフにした立体作品。忠実な再現でも、自社の技術・製品・素材で再解釈した造形でも構いません。**御社の技術が作品から読み取れること**が唯一の条件です。 例：切削加工の火焔土器、板金・溶接の火焔土器、メッキで輝く火焔土器、LEDで燃える火焔土器、食材で作る火焔土器、3Dプリント×プロジェクション
サイズ・重量	高さ **30〜120cm**、設置面 **60×60cm以内**、重量 **50kg以内**を目安に（人力で搬入・設置できる範囲）。 超過する場合は事前にご相談ください。搬入経路・床耐荷重を確認のうえ調整します
素材・安全	素材は自由。ただし**火気・裸火・可燃性液体は使用不可**（公共施設のため）。鋭利な突起は養生し、来場者（子ども含む）が触れても安全な状態でご提出ください。転倒防止の自立構造、または台座固定が可能な構造としてください。
電源・発光	LED等の電飾は歓迎します。電源は**100V・1口まで、消費電力を事前申請**（アオーレ長岡は電源申請の確認が厳格です）。バッテリー駆動も可。
社名・ロゴ	作品本体への社名・ロゴの表示は自由。加えてイベント側で統一デザインの**社名板（W300×H100mm程度）**を作品横に設置します。
製作体制	自社製作が基本ですが、**地元クリエイターとの共同製作**も可（実行委員会からのご紹介も可能）。複数社での共同出品も1枠として受け付けます。

2. 技術紹介動画の要項 VIDEO

制作体制	動画は**全社にご用意いただきます。制作費は協賛金（¥200,000）に含まれず、別途御社のご負担**です。①**自社制作・既存動画の持ち込み**、または ②アトHENのクリエイティブを担当する**長岡ベンチャー**（地域クリエイター組織）への**制作依頼（有償・別途お見積り）**のいずれかをお選びください。②の場合は製作現場の取材受入れと出演（作り手・若手社員）にご協力ください（撮影は12月〜1月に1〜2回、各1〜2時間程度）。
内容	製作の過程、使った技術・素材、作り手の顔と言葉。「なぜこの形にしたか」「自社は何を得意とする会社か」が伝わる構成にします。会社紹介そのものより、**作品と技術の話**が来場者に刺さります。
尺・形式	**30秒〜2分**／横16:9。会場では字幕付きで上映。
上映場所	作品横のモニター（ループ再生）と歴博特別展。同じ動画を**ナカドマ大ビジョンのCM枠**と公式SNSでも使用します（**上映・放映枠は特典に含みます**。動画の制作費は含みません）。
提出・使用	動画データ（MP4）と作品情報（作品名・解説100字・ロゴ）を**2027年1月20日(水)**までにご提出ください。長岡ベンチャーに依頼した場合も完成データは御社にお渡しし、自社の広報・採用に使えます（利用範囲は依頼時の取り決めによります）。

3. 展示について EXHIBITION

会場	**アオーレ長岡 アリーナ中央**（参番隊「交わる」／火焔スクエア）。**会場で最も人が集まる中心に10基を集約**し、企業展示・学生エリアに囲まれた「島」として構成します。来場者が必ず通る位置です。
展示期間	**2027年2月7日(日) 10:00–17:00**（前日2/6(土)夜の関係者前夜祭でも披露）。終了後、**新潟県立歴史博物館の特別展として約1か月展示**（2027年2月〜3月・日程調整中）。
イベント側の用意	展示台（白・高さ約70cm）／照明／動画用モニター（24〜32型）／社名板／電源1口／展示レイアウト設計。照明の方式（スポット／行灯型など）は、アリーナの明るさに合わせて設営計画とともに決定し、打合せでご説明します。
搬入・設置	**2/6(土) 13:00–18:00**に御社で搬入・設置（車両の一時乗り入れ可、荷下ろし後は退出）。設置はスタッフが補助します。
搬出・運搬	2/7(日)閉場後、**イベント側が10基をまとめて歴博へ運搬・設置**します（御社の搬出作業は不要）。特別展終了後、御社へ返却します（返却の運搬もイベント側で手配）。運搬に耐える梱包・固定方法は打合せで確認します。
管理	アトHEN展示中はスタッフが常駐、歴博では博物館の管理下で展示します。イベント保険に加入していますが、作品自体の高額な保険が必要な場合は御社でご手配ください。

4. スケジュール SCHEDULE

※日程は変更の可能性があります

10月 2026
募集開始
先着10社。申込フォームで「火焔パートナー」を選択

11/30 2026
申込締切
チラシ・ポスターに社名掲載

12月 2026
企画打合せ
作品概要・サイズ・電源と動画の用意方法を確認。長岡ベンチャーへ依頼の場合は見積り・撮影日程を調整

12/31 2026
協賛金 振込
11/30までにお申込みの場合。12/1以降は2/5まで

1/17 -18
大宮駅（埼玉）コラボ展示
JR大宮駅構内で週末限定。テック火焔土器に盆栽を植え込んで先行お披露目（詳細調整中）

1/20 2027
作品情報・動画 提出
作品名・解説（100字）・ロゴ・技術紹介動画（30秒〜2分）

2/6 土
搬入・設置・前夜祭
13:00–18:00 設置／19:00〜関係者前夜祭で10社合同お披露目

2/7 日〜
展示 → 歴博特別展へ
10:00–17:00 展示。閉場後イベント側が歴博へ運搬し、約1か月の特別展へ

製作アイデアの例 IDEAS

「自社の技術で火焔土器を作るなら？」の出発点として

切削・精密加工 MACHINING
削り出しの火焔土器。工具痕と公差そのものが見どころ。切粉を装飾に使う手も

板金・溶接・製缶 METAL
ステンレスの板金・溶接で炎の装飾を再現。研磨面にLEDウォールの光が映り込む

表面処理・塗装 FINISH
メッキ・アルマイト・塗装で色と質感を語る。同じ形を3種の仕上げで並べる案も

電気・制御 LIGHT
内側から燃え上がるLED演出。配線・制御盤の技術を「光」で見せる

建設・木工・組立 WOOD
継手・組子の技術で木の火焔土器。図面と加工精度そのものが見どころ

食品・印刷・IT OTHERS
食材で作る火焔土器、紙の積層造形、3Dスキャン×3Dプリント×プロジェクション

5. 費用と役割の分担 COST & ROLES

御社（火焔パートナー）	アトHEN実行委員会
● 協賛金 ￥200,000（税込）	● 展示台・スポット照明・動画用モニター・電源・社名板
● 作品の企画・製作・製作費（材料・加工・人件費）	● 10基の展示レイアウト設計・設営・照明演出
● **技術紹介動画の用意と制作費**（自社制作・既存動画の持ち込み、または長岡ベンチャーへ有償で依頼＝別途お見積り）	● 技術紹介動画の上映（作品横モニター・歴博・大ビジョンCM枠・公式SNS）、動画制作を依頼する場合の長岡ベンチャーのご紹介
● 作品の搬入・設置（2/6）	● 企画打合せ（12月）と製作中の相談窓口、クリエイターの紹介
● 作品名・解説文（100字程度）・ロゴデータの提出	● アトHEN終了後の歴博への運搬・特別展の設営、終了後の御社への返却運搬
● 電源を使う場合の消費電力の申告	● ナカドマ大ビジョン・公式SNS・プレスリリースでの発信、チラシ・ポスター・公式サイト・会場への社名／ロゴ掲載
	● 展示中の管理（スタッフ常駐）・記録撮影・写真データの提供・展示後の発信と接続

6. ¥200,000で得られるもの VALUE & CONNECTIONS

提供物だけでなく、生まれる接点まで含めての枠です

生まれる接点 ほかの9社の製造業 ／ 発注側の企業・技術者 ／ 学生・若者（採用の入口） ／ アーティスト・クリエイター（2026実績 82団体） ／ 来場者（2027目標 10,000名） ／ 取材メディアと歴博の来館者

火焔土器の製作・展示 **アリーナ中央** に、技術紹介動画とともに展示	**歴博での特別展 約1か月** 新潟県立歴史博物館へ運搬・展示。運搬・設営はイベント側	**技術紹介動画の上映** 作品横モニターと歴博でループ上映（動画の制作費は別途）	**記録写真のご提供** 作品・展示・製作現場の写真データをお渡し
会場内ロゴ掲示「ロゴ大」 スポンサーボード等にロゴを大サイズで掲示	**ナカドマ大ビジョン放映** 技術紹介動画をそのままCM枠で放映	**公式SNSでの発信** 作品・企業を公式アカウントから紹介	**公式サイト掲載 1年間** ロゴ・社名・HPリンクを掲載
企業ブース出店料の免除 最大￥100,000相当。作品と別にPRブースも出せます	**入場チケット20枚** 社員・取引先のご招待に	**関係者前夜祭へのご招待** 2/6(土)夜。10社合同のお披露目	**作品・写真の自社広報利用** 記録写真データを提供。返却後の作品も自由に活用可

※作品は特別展終了後に御社へ返却します（運搬もイベント側で手配）。※「ステージでの社名アナウンス」は米百俵パートナー以上の特典です。※チラシ・ポスター掲載は11/30申込分まで。

7. 権利・注意事項 RIGHTS & NOTES

・作品の著作権・所有権は御社に帰属します。作品と動画を、実行委員会がイベントの広報（公式サイト・SNS・プレスリリース・次回以降の協賛資料）、新潟県立歴史博物館の特別展、および地域の産業発信（2ページ目の構想を含む）に使用することをご了承ください。
・展示中の写真撮影・SNS投稿は来場者に自由に行っていただきます。
・公序良俗に反する表現、他者の権利を侵害する表現、危険物を含む作品はお断りします。
・大雪などにより開催内容が変更・中止となった場合の協賛金の取り扱いは、他プランと同様に実行委員会規約に準じます。
・金額は消費税込。請求書の発行をご希望の場合は対応いたします（適格請求書発行事業者ではありません）。入金確認後、領収書をメールでお送りします。

8. よくある質問 FAQ

Q 自社に「作る技術」がないのですが参加できますか？
A できます。地元クリエイターや他社との共同製作を実行委員会がご紹介します。「自社の製品・サービスを素材にする」発想でも構いません。

Q 製作費はどのくらいかかりますか？
A 御社の企画次第です。既存の設備・端材・自社製品を活かした製作なら大きな追加費用は不要です。予算の目安は打合せでご相談ください。

Q 作品はイベント後どうなりますか？
A アトHEN終了後、イベント側が新潟県立歴史博物館へ運搬し、特別展として約1か月展示します。終了後は御社へ返却（運搬もイベント側）。その後は自社ショールームや店頭でお使いください。

Q 動画の制作費は協賛金に含まれますか？
A 含まれません。動画は全社にご用意いただき、制作費は別途御社のご負担です。自社制作や既存動画の持ち込みも可能です。制作を任せたい場合は長岡ベンチャーが撮影・編集を承ります（有償・別途お見積り）。

9. お申込み HOW TO APPLY

APPLICATION FORM

art-banpaku.com/sponsor/apply

公式サイトの申込フォームで「火焔パートナー」を選択してください（約3分）。作品の企画が固まっていなくても申込できます。まず相談したい方はメールで一言どうぞ。

アトHEN実行委員会　総監督 小川 卓（ASOBI.NIIGATA）　TEL 070-8984-4466　MAIL art.niigata@gmail.com

申込後の流れ：①事務局からご連絡・振込先のご案内 → ②12月 企画打合せ（動画の用意方法を確認） → ③12/31までにお振込み → ④1/20 作品情報・動画提出 → ⑤2/6 搬入・前夜祭 → ⑥2/7 展示 → ⑦歴博特別展（約1か月） → 返却